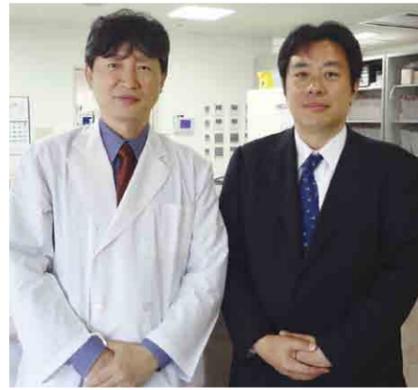


## 新病院の基礎作りに邁進できた 5年間は本当に充実した日々でした

昭和60年広島大学卒業後研修医として井上眼科病院に入局。第9代院長の井上治郎先生の大変厳しくも愛情溢れるご指導のもと素晴らしい先生方やスタッフに囲まれ、眼科医としては最高の環境に置かせていただきました。特に平成3年より西葛西・井上眼科病院初代院長として井上先生はじめ恩師竹内忍先生や多くの方々の御助力により新病院の基礎作りに邁進できた5年間は本当に充実した日々でした。

平成8年に所沢で外科・透析病院を継承し、眼科・内科・透析病院として開業(内科・透析は高校の先輩である市山医師が担当)。平成21年現在の場所に新築移転、クリニックとして再スタートしました。今年4月には多くの患者さんやスタッフに支えられ、何とか19年目を迎えることができました。井上眼科グループの皆様には開業以来多大なる御支援をいただき感謝の気持ちでいっぱいです。今後も井上眼科イズムを守りつつ今以上に地域医療に貢献できれば幸いです。



さくら眼科・内科 岡本理事長と井上理事長

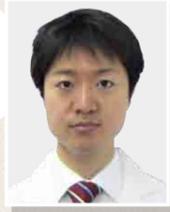


医療法人春水会  
さくら眼科・内科  
〒359-1118  
埼玉県所沢市けやき台1-8-2  
TEL 04-2926-9339

### 入局医師の紹介

#### お茶の水入局医師

一人一人のニーズに応えられるよう診療にあたっていきたく思います。どうぞよろしくお願いいたします。



さきさか としひろ  
向坂 俊裕 2014年4月1日入局  
井上眼科病院 常勤医

#### 西葛西入局医師

一人一人の患者さまに丁寧な診察、わかりやすい説明をしていきたいと思ひます。どうぞよろしくお願いいたします。



たなか ひろき  
田中 宏樹 2014年4月1日入局  
西葛西・井上眼科病院 常勤医

#### 後期研修医

滋賀県出身です。一日も早く患者さまに頼られる眼科医になりたいと思っております。よろしくお願ひします。



うちとみ かずひと  
内富 一仁 2014年4月1日入局  
井上眼科病院 後期研修医

思いやりをもって患者さまと接していきたいです。また、日々努力を忘れず知識、技能を習得していきたいと思ひます。



ながい みずき  
永井 瑞希 2014年4月1日入局  
井上眼科病院 後期研修医



宮崎県出身。眼科医としてはまだスタートしたばかりですが、一人でも多くの患者さまの力になれるよう日々努力していきます。

かわしま たく  
川島 拓 2014年4月1日入局  
井上眼科病院 後期研修医



歴史ある井上眼科病院で眼科医としてスタートを切ることになりました。少しでも早く貢献できるよう努力していきます。どうぞよろしくお願いいたします。

むらき つよし  
村木 剛 2014年4月1日入局  
井上眼科病院 後期研修医

「井上眼科だより」に関するご意見・ご感想・取り上げて欲しいテーマ等ございましたら、広報課までご連絡ください。バックナンバーは下記ホームページよりご覧いただけます。

e-mail: [press-agent@inouye-eye.or.jp](mailto:press-agent@inouye-eye.or.jp)



西葛西・井上眼科病院  
ほり さだお  
院長 堀 貞夫

## 大切にしたい視覚の質 “クオリティ・オブ・ビジョン”

生活の質、および、医療による生活の質の向上を意味する「クオリティ・オブ・ライフ」という言葉は、多くの方がご存じかと思ひます。そこで今回は、眼科でよく使われる“視覚の質”=「クオリティ・オブ・ビジョン」についてお話をいたします。このクオリティ・オブ・ビジョンという言葉ですが、私が座長を務めた1994年の眼科手術学会で、眼科医療に携わる立場として、視覚の質を考え、話し合ったいこうということを使いはじめた

ものなんです。  
「眼が見えないくらいなら、死んでしまいたい」とおっしゃる患者さんいらっしゃるように、クオリティ・オブ・ビジョンは、生きていく楽しみや生きがい、まさに生活の質にもつながるものです。そこで、視力の低下を予防する、また、視力が落ちてしまった状態で固定させずに改善するための努力が非常に大切です。  
また、私たちは、患者さんへの気配りを何よりも大事にしています。

例えば、今そこで患者さんがつまずいて転んでしまったら、眼以外のことで寝込まなくてはいけなくなるかもしれません。患者さんが今、何に困っているのかを考える、こうした気配りもクオリティ・オブ・ライフへとつながっていきます。  
今後も、クオリティ・オブ・ビジョンの維持・改善を通じ、クオリティ・オブ・ライフの向上へとつなげていくことで、眼科病院として、社会への貢献を続けていきたいと考えています。

## 新設! 屈折矯正外来の開設

7月1日、お茶の水・井上眼科クリニック18階に「屈折矯正外来」を開設しました。

屈折矯正外来は、「レーシック手術」、「プレミアム白内障手術(高機能多焦点レンズとフェムトセカンドレーザーを用いた白内障手術)」をメインとした、保険外診療で屈折矯正治療に取り組む外来です。

個々の多様なニーズに対応するべく、眼疾患の治療法も多様化しています。一方、一部の手術トラブルも社会的に強く問題視されており、患者さまの視点に立てば、手術に対する不安が一層つきまとう時期なのかもしれません。だからこそ、すべての眼疾患に対応できる「眼」の総合病院として、より多くの患者さまが安心できる医療サービスを提供することが、当グループの使命と感じています。

屈折矯正外来は、専用のフロアで待ち時間のストレスなく診療を受けられるのが特徴です。ゆとりある空間で、当院の眼科専門医が充実した診療、高品質な手術の提供を目指します。

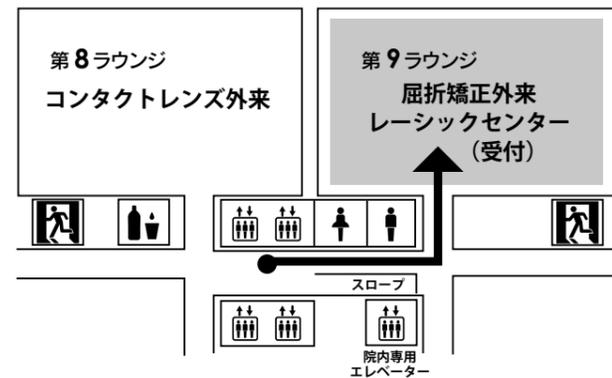


外来イメージ

- 診療内容/レーシック手術、プレミアム白内障手術(高機能多焦点レンズとフェムトセカンドレーザーを用いた白内障手術)、フェイクIOL手術、円錐角膜治療(クロスリンキング)
- 診療時間/ 月～土 午前：9時00分～11時00分  
午後：2時00分～4時30分  
日曜・祝日・年末年始を除く
- お問い合わせ  
お茶の水・井上眼科クリニック 18階 「屈折矯正外来 レーシックセンター」
- フリーダイヤル/0120-48-4930(受付時間:午前9時～午後5時)
- ご関心をお持ちの方は、お気軽にお問い合わせください。

お茶の水・井上眼科クリニック 18階(新お茶の水ビルディング)

※高層階用エレベーターをご利用ください



### ●プレミアム白内障手術

国内未承認ながらすでに海外で高い実績を上げている高機能レンズと最先端のレーザーを用いた白内障手術です。完全オーダーメイドのプレミアム多焦点眼内レンズは遠近両用で乱視も矯正でき、より鮮明に広範囲を見ることができます。さらに、高機能レーザーを用い個々の眼に合わせて正確に切開することで、眼内レンズを的確な位置におさめることが可能となります。

このレーザーとレンズの組み合わせが、手術の質を向上させ、快適さを実現するカギとなるのです。

### ●レーシックセンターの移転

7月1日より、レーシックセンターの受付・検査・診察などが、井上眼科病院より新お茶の水ビルディング18階の「お茶の水・井上眼科クリニック 屈折矯正外来 レーシックセンター」に移転いたしました。

### ●レーシック(近視矯正手術)説明会

レーシックに関心をお持ちの方、実際に検査・診察を受ける前に説明を聞いてみたいとお考えの方は、お気軽にご参加ください。

**担当医師との個別相談も可能です。**  
(希望者のみ、お一人5分程度)

- 日時:2014年7月9日(水)、8月20日(水)、9月10日(水)  
午後6時30分より1時間程度
- 場所:お茶の水・井上眼科クリニック 18階  
屈折矯正外来 レーシックセンター ■費用:無料

●お電話での予約:フリーダイヤル  
**0120-48-4930**

(受付時間:午前9時～午後5時 ※日曜・祝日を除く)  
※レーシック手術に関するご質問や資料請求もこちらでお受けします

●ホームページから予約:

井上眼科 レーシック  検索

## 西葛西・井上眼科病院の移転・新築

「西葛西・井上眼科病院」「西葛西井上眼科子どもクリニック」「西葛西井上眼科クリニック」は統合し、新「西葛西・井上眼科病院」として生まれ変わります。

2015年3月の開院に向け、工事が着々と進んでいます。6月末現在、建物の2階部分(診察スペース)を工事中です。

患者さまが快適に過ごせる施設となるよう、さまざまな工夫を取り入れています。

詳細は随時、ホームページなどでご報告いたします。



新病院建築の様子



新病院周辺地図

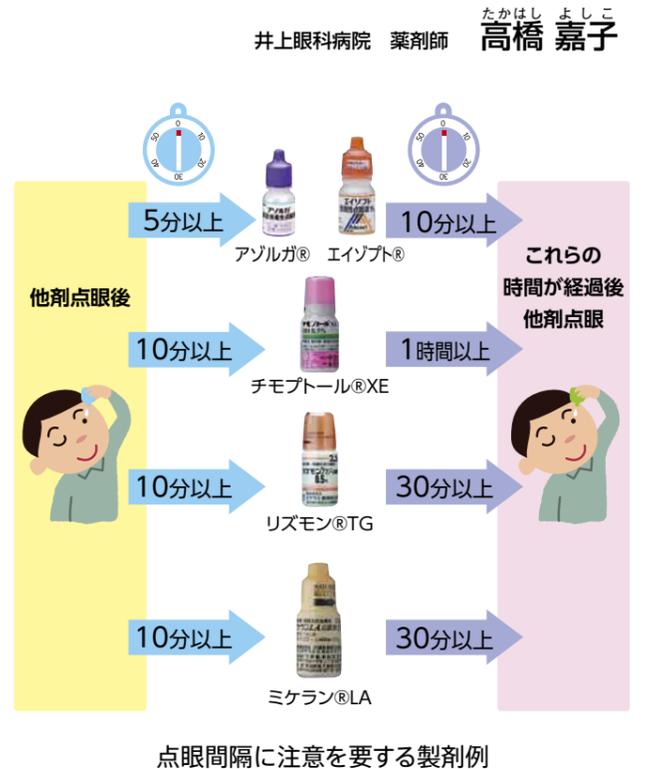
患者さまから多い質問です

## Q.「目薬と目薬は、どのくらい間隔をあければよいですか?」

A. こちらの回答は **少なくとも5分**になります。「5分も」とおっしゃる方もいらっしゃいますが、効果を十分にだすためにはこの5分が大切です。間隔が短いと先に点眼した薬液が、あとに点眼した薬液に洗い流されてしまうからです。例えばピロカルピン(商品名サンピロ)という目薬の場合ですと、30秒後に他の目薬を点眼すると約70%、2分後に点眼すると約30%が吸収する前に流されてしまいます。薬液が吸収するまでには最低5分が必要です。そのための5分です。

また、さらに長い間隔が必要な目薬もあります。それらはゲル化(ドロツとする)や懸濁化(白くにごる)することで眼の中にたまりやすく設計された目薬です。井上眼科病院グループで処方している目薬では右の図のものが該当します。

「間隔をあけると、どうしても点眼を忘れてしまう」という方には、キッチンタイマーの利用をお勧めしています。病棟の看護師も入院している患者さまの目薬を忘れないように活用しています。簡単なものは100円ショップでも販売していますので、ぜひ点眼を忘れてしまうという方は、一度試してみてください。



点眼間隔に注意を要する製剤例

知っ得セミナー

### 第19回 知っ得セミナー(無料)開催のご案内

- 日 時:2014年7月9日(水) 午後2時30分～午後3時00分
- 場 所:西葛西井上眼科子どもクリニック
- テーマ:「加齢黄斑変性」の治療薬について
- 講 師:桐原 陽子(西葛西・井上眼科病院 薬剤師)

お申し込みはお電話が当院職員まで  
**TEL.03-5605-2100**

どうぞ、お気軽にご参加ください。  
第20回以降の予定は、決まり次第ホームページ  
(http://www.inouye-eye.or.jp/nk-hospital/)でお知らせいたします。

毎月  
第2水曜日  
開催中!